

2020 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2020 年度分)

団体名	社会福祉法人 俊英館福祉事業会
-----	-----------------



保育園で園児の命を預かる上で、職員一人ひとりの自主救護能力、人工呼吸法・心肺蘇生法・AED の使用方法・止血法などの習得及び救急車到着までの応急手当の重要性を認識し、救命率や安全管理に対する資質の向上を図ることを目的とし活動を行った。

実施方法としては、1 回の参加人数を制限し小グループで実施回数を増やし行う。今年度の普及員の再講習を受講した際に、コロナ感染症対策をふまえた普通救命講習の指導内容を教えていただいたので、その内容に沿って人工呼吸法以外の訓練を実施した。また、乳幼児の誤嚥を想定した窒息事故訓練も行った。

訓練器や AED を使用しての心肺蘇生法は、仕組みを理解でき、感覚をつかみやすく、不安や疑問を解消できる為、実際に事故などに遭遇した際の救護を行う上で心理的なハードルが下がり、やってみよう、声を掛けてみようという気持ちが出てきたなど参加者からの声があがった。小児と大人と両方を使用して訓練できる事で感覚の違いが分かり良かったという感想もあった。

保育園という職場において、乳幼児に心肺蘇生法の実施する際の不安を解消でき、資質の向上につながる活動ができ、個人の自主救護能力を伸ばし、救命行為に対する意識の改善ができた。